

# こむれび

第 4 2 号

理事長からのメッセージ

今年4月の改訂により、特別養護老人ホームの入所対象が原則要介護3以上に限定されることとなりました。(他の改訂項目を含め)介護保険制度が、要支援者・軽度者から中重度者に対象を絞っていく流れが明らかです。その対応力を磨くには、介護スキルはもちろん医療知識も必要になってきます。「病状が悪化した場合、どう対応すればいいか・・・?」「何かあったら怖い!」と及び腰になっては通用しない時代です。一方プロ意識が高い介護職ほどテリトリー意識も高い傾向にあり、介護の仕事はここまでと範疇を決めてしまう傾向もありがちです。又各事業所がどこまで医療行為を行うか、どこから医療機関に依頼するかもよく話し合いスタンスを決めることも重要だと感じています。そして最も難しいのは、医師から得た情報、又介護職が入居者のわずかな顔色の変化、仕草の変化に気付いたことを施設内で共有することです。今年度下期は、施設内での情報共有をスムーズに行うための組織改革作りに力を入れて取り組んで参ります。

理事長 大屋敷 幸志

## 社会福祉法人麗寿会の地域貢献への取り組み

社会福祉法人麗寿会では創立以来、地域福祉の向上に貢献することを目的に様々な取り組みを行ってきました。特に近年では社会福祉法人制度に関するあり方について、国レベルでの議論がなされている現状があります。本来、2000年介護保険法施行以前の措置行政へのサービス提供に加えて、地域社会への福祉事業を通じた貢献活動が社会福祉法人の役割として社会福祉法に位置づけられ、旧民法第34条に基づく公益法人として成り立った経緯があります。本来の姿として、介護保険制度下においても、地域の福祉の向上に対して貢献する役割を持っているのが社会福祉法人だといえます。

そのような中、麗寿会では特に近年では非営利の公益事業として、茅ヶ崎市内では「ふれあい福祉講座」と題して、毎月1回法人内の専門職を講師に、法人施設を会場として開放し、地域住民向けの無料福祉講座や体操教室を実施しています。また、ふれあいの泉では、施設内1階の地域交流スペースを地元のNPO法人に利用していただき、喫茶店「カフェふれんず」として営業しています。地域のだれでもが気軽に立ち寄りお茶や軽食ができ、現在では施設ご利用者様やご家族、地域住民の交流の場となっています。

今年度からは更に「地域貢献委員会」を法人内に立ち上げ、社会福祉法人としてその専門職や施設等、ソフト・ハード両面から地域でどのように貢献できるか、地域住民の皆さまと、どのような協働の形があるのかなどを検討し、更なる公益事業の充実を図っていく予定です。

近年の複雑多様な社会情勢のなか、だれもが地域で安心して生活することができるよう、これまで以上に社会福祉法人として地域の福祉への貢献を皆さまのご協力のもと一意専心していく所存です。



2015  
10.1No.  
42

- |  |                           |                        |
|--|---------------------------|------------------------|
| 1 理事長からのメッセージ  | 1 社会福祉法人麗寿会としての地域貢献への取り組み |                        |
| 2 ふれあいの里   | 3 ふれあいの森                  | 4 ふれあいの泉 8月15日 夏祭りのようす |
| 5 ふれあいの家 みのり『地域に支えられて3年目!』                               | 5 ふれあいの家 こすもす             |                        |
| 6 鶴嶺西地区地域包括支援センターみどり/茅ヶ崎地区地域包括支援センターゆず/小出地区地域包括支援センターわかば |                           |                        |
| 7 ケアセンター茅ヶ崎元町 コグニサイズ                                     | 8 新入職員紹介                  | 8 編集後記                 |

## ふれあいの里

ふれあいの里では、7月26日(日)小出地区のコミセン祭りに模擬店の参加をしてきました。全部で20か所ほどの出店があり、フランクフルト・たこ焼き・焼きそばなどの定番メニューで賑わっている中で、今回ふれあいの里からは「冷やしパイン」を出店しました。去年は冷やし汁粉、おとしはおでんとここ近年にかけて毎年参加させて頂いております。

ふれあいの里の入居者の皆様が気軽に地域行事へ参加できるように、スタッフで送迎を行い、現地では模擬店の食べ物やバザー商品を買って楽しまれていました。5年ほど前までは入居者がボランティアとして加わり、祭りの前日にポテト餅づくりを懸命に取り組まれていました。あらかじめ食べ物を一緒に準備し「小出地区の地域住民」として参加しているという自覚を持っていた、とその当時参加していた入居者の方がお話ししてくださいました。以前は行事・外出を楽しんで過ごされた入居者の方も多くいましたが、ここ最近では皆様がご高齢になられたこともあり一緒に取り組むことは少なくなりつつあります。しかし、今年はテントの売り子として暑い夏のまつりを盛り上げました。

「自ら生活を設計し、できる限り自立した生活の継続」を目指しているからこそ、こうした行事や外出を充実していつまでも楽しむことができるのではないのでしょうか?今後も入居者の皆様と共に小出地区の地域住民として出来ることを模索していきたいと考えております。



### デイサービス

ふれあいの森デイサービスでは、一年を通して、沢山の地域の方々と交流を深めています。春には、地域の5つの保育園から明るく元気な園児の子たちが、夏には一週間を通し、夏祭りを開催するに辺り、盆踊りやフラダンス、生演奏など多種多様に彩ります。秋には文化祭と称し、文教大学の創作太鼓「楓」の皆さんをはじめ素晴らしい演奏の数々、冬には職員がハンドベルを披露したりもするクリスマス等々を催しております。



私たちも地域住民なら、自然と触れ合うのが当たり前で、日常のご利用者が地域に「居る」という事そのものだと思います。ご利用者も地域住民として暮らせることが「当たり前の生活」だと思えます。これもまた、地域の方々のご協力があってこそ、可能にしています。感謝の思いと今後も、たくさんの方と交流が深められるよう、職員一同頑張りますので、宜しくお願い致します。

### 特 養

去る7月25日、ふれあいの森にて〔おやつレク〕を行いました。最初は「この生のじゃがいもを食べるの?」と冗談交じりで話していましたが、調理を開始すると皆さま作業工程を真剣に聴かれ、ふかしたじゃがいもの皮をむく・つぶす・丸める等の調理作業を積極的に手伝って下さいました。焼き上がった〔もちいも〕を、調理に参加できなかったご利用者様にも配り、皆様で召し上がっていただいたところ「もう一個ちょうだい!」とたくさんの方から要望があり、大盛況に終わりました。ふれあいの森では、このようなおやつレクを2カ月に1回行っています。入所されているすべてのご利用者様に参加していただけるよう試行錯誤をしながら、今後もおいしく楽しいおやつレクを続けていきたいと思っています。





今年も家族会で素敵なおうちわを作成し、みなさんに配布致しました。種類も沢山あり、おしゃれなデザインが好評でした。



今年が目玉では、藤沢市鶴沼の「鶴神睦會」の皆様が初めて来て下さり、神輿を披露して頂きました。迫力満点のパフォーマンスで大盛況でした。縁起ものだと、触られたり、写真を撮る方もおられました。



4Fフロアでは模擬店が出店されました。内容は、綿菓子・アイスクリーム・ドリンク・たこ焼き・ゲームコーナーの5つでした。普段とは違う雰囲気での飲食やゲームに笑顔が多く見られ、みなさんの会話も弾んでいたようです。



8月15日16日に今泉地区の盆踊り大会が近くの公園で行われました。ふれあいの泉としては昨年に引き続き、やさそばの店を出店し、職員が順番で店番を行いました。大変大盛況で、長蛇の列が作られていました。希望される利用者さんは、ご家族や職員と一緒に参加され、盆踊りの懐かしい雰囲気を味わい、夏の一夜を楽しみました。

## ふれあいの家 みのり 『地域に支えられて3年目!』

ふれあいの家みのりは、平成25年に漁師町として古き良き歴史のある南湖へ開所し3年目となりました。開所当初より下町自治会に加入させて頂き、地域の皆様のお力をお借りしながら、様々な活動に参加させて頂いています。今後も地域の皆様との交流を大切に、またみのりから地域へ貢献できるよう努めて参りたいと思います。



茅ヶ崎海岸にて毎年行われる『浜降祭』の一面です。みのりの前をお神輿が通過します!



年に一度の演芸大会の様子です(演目多数ありました)。  
(写真はフラダンス観覧中♪)



お盆の季節になると、近所の住吉神社にて盆踊り大会が行われます☆

## ふれあいの家 こすもす

### ～認知症対応型共同生活介護（グループホーム）・認知症対応型通所介護～

『ゆっくり』『一緒に』『楽しみながら』の事業所理念のもと、ご入居者・ご利用者のお一人お一人がいつまでも「その人らしく」住み慣れた地域の中で暮らして頂けるよう、日々支援させて頂いております。

毎日の生活の中での楽しみはもちろん、日々の充実感ある生活提供を目指し、近隣への散歩・外出だけではなく、地域ボランティアさんの力もお借りしながら、年中行事に力を入れております。

また、地域に向けての活動として、認知症介護教室（町委託事業）を開催しております。認知症の基礎的知識から介護の工夫について、誰にでも分かりやすい内容とすることで、一人でも多くの町民に認知症の正しい知識を学んで頂く場としています。



## ● 鶴嶺西地区地域包括支援センターみどり

鶴嶺西地区地域包括支援センターみどりでは地域住民の皆様を対象にした介護予防に関する様々な取り組みを行っています。

なかでもコミュニティセンターで月に1度開催している認知症予防のための「脳活クラブ」は好評で、毎回30～40名の方が参加されています。‘運動しながら楽しく認知症予防’をテーマに、包括支援センターの看護師による認知症予防のポイントの講義やデイサービス事業所の運動指導士の方による運動のレクチャーなど、皆さん楽しみながら認知症予防に取り組まれています。

地域のサロン等への出張講座も行っていますので、是非介護予防にお役立てください。



## ● 茅ヶ崎地区地域包括支援センターゆず

茅ヶ崎地区地域包括支援センターゆずでは、平成27年9月1日より事務所をこれまでのワラシナビル5階から、同ビル1階に移転いたしました。移転に伴い皆様にはご迷惑をお掛けいたしますが、移転により利便性が向上し、これまで以上にお越し頂きやすいセンターとして運営していく次第でございます。どうぞお気軽にお立ち寄り下さいますようお願い申し上げます。



## ● 小出地区地域包括支援センターわかば

平成25年10月に小出地区に開所してから約2年が経ちました。最近では、地域住民、関係機関にも認知され、スムーズな連携が取れるようになりました。コミセン祭りやレインボーフェスティバルなどのイベントにも参加させていただくようになりました。これからも小出地区の福祉のまちづくりの一翼になれるよう運営していきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



### コグニサイズとは？

頭を使いながら運動といった異なる2つのことを同時に行うことにより、脳を活性化させるトレーニング法です。

コグニサイズでは「頭がスッキリする」、「集中力の向上」、「記憶力の向上」などの効果が実証されております。近年では「認知症予防」として注目を集めており、当センターでは今年の7月より少人数のサークル活動として実施しています。

当センターのコグニサイズは、椅子に座って行う体操が中心で、声を出しながらリズムよく数字を数えることから始まります。次に、足踏みといった体を動かす動作を加えていきます。声に合わせて足踏みが出来るようになったら、次は3の倍数の時に手をたたくといった頭を使った動作を加えていきます。

慣れてきたら足踏みにステップを加えたり、足踏みをしながらしりとりをしたりと、メニューを複雑にすることで、脳の活性化につながります。

このように、徐々に難易度を上げる事で、介護度が異なるご利用者さま同士でも一緒になって行うことができるのが、当センターのコグニサイズの特徴でもあります。

また、少人数で行うことから、普段体を動かすのが苦手なご利用者さまも積極的に参加されていました。

コグニサイズに参加されたご利用者さまからは「今後も続けていきたい」という積極的な意見が多数寄せられました。

当センターでは、ご自宅でも無理なく毎日コグニサイズを続けていくことを推進しています。現在、ご利用者さまが自宅で一人でもきるコグニサイズをスタッフ一同で日々考案しています。



## 新入職員紹介

### 薬師 敬久 施設長



趣味 / 釣り

意気込み / 8月21日にふれあいの泉施設長として、着任致しました。私は施設の方針として『安心、安全な施設づくり』を掲げて、ご利用者様にとって安心して暮らせる場所を提供させて頂きたいと考えております。

また、職員も日々自己研鑽を行い、より仕事の質を上げられるような環境を作って、ご利用者様との信頼関係を強いものに出来るよう目指してまいります。

私もまだまだ、ご利用者様や周りの職員に教わるのが沢山ある身です。自分自身も勉強しながら、ふれあいの泉に関わる人全てで盛り上げていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

### 大貫 美和



趣味 / 料理

意気込み / 今年大学を卒業し、ふれあいの森で働き始めました。大学では社会福祉を学んでいましたが、介護は初めてなので戸惑うことばかりです。しかし、先輩方が様々な事を丁寧に教えて下さるので、少しずつ仕事や職場の雰囲気慣れてきました。まだ経験していない業務等あるので、これから徐々に担えることができるよう頑張っていきたいと思っております。

### 高橋 春樺 介護職員



趣味 / 体を動かすこと。スポーツ観戦

意気込み / 大学で4年間社会福祉を学び、今年4月に入職しました。戸惑う事ばかりで悪戦苦闘の毎日ですが、先輩方のご指導により一歩ずつ成長しているところです。最近ではようやく仕事にも慣れてきて、利用者様の日々の変化に気付くことが出来るようになってきました。自分の仕事が利用者様の一人一人の笑顔に繋がるよう精一杯がんばります。

### 三浦 瑠奈



趣味 / 祭囃子(太鼓)

意気込み / 私はふれあいの森デイサービスで勤務をしています。介護の仕事をしたと思ったのは、ボランティアがきっかけでした。最初の頃は人見知りでコミュニケーションが取れませんでした。ご利用者さまの笑顔を見ると徐々にこの仕事に興味を湧き、介護士を目指したいと思うようになりました。ご利用者さまに笑顔で楽しく過ごしていただくことを目標とし、日々頑張っていきたいと思っております。

### 三原 郁枝 介護職員



趣味 / ドライブ・食歩歩き

意気込み / 離れて暮らす子供や孫が、両親や祖父母に対してしたい事をさせて頂き、ご家族に安心して頂けたらと思います。ご利用者様には、寂しい思いをせず毎日穏やかに過ごさせて頂きたいと思っております。また、ご利用者様が遠慮せず、何でも言って頂けるような職員を目指したいと思っております。

### 内藤 茂木



趣味 / フリークライミング

意気込み / 昨年9月に入職し、ふれあいの森で勤務しています。

40代で異業界・異業種への転職は不安がありました。先輩方のご指導のおかげで慣れていくことが出来ました。現場の経験を重ね、介護福祉士とケアマネージャーの資格を得るのが目標です。趣味はフリークライミングで、公私共に充実した毎日を送っています。

## 編集後記

今年も7名の職員が職場に新しい息吹を吹き込んでくれています。

当法人では、法人全体・階層別・職種別・資格取得向け等の内部研修、そして目的を持った外部研修の参加を奨励していますが、当法人が伝統的に重点テーマとしてきたのは「認知症ケア」です。

私共が標榜する「パーソンセンタードケア」の対局にあるのは何でしょうか？

それは「事業所に都合のよいケア」かもしれません。ケアする側が相手の内面を見ずに、時間で管理しようとすれば問題は出てきます。

ケアに拒否的な態度を示す方に、「時間がないから仕方がない」と強制的なケア、効率的なケアを続けていけば、最終的にこのような戦いに疲れてしまった職員の離職を招いてしまいます。

・・・相手にどうすれば寄り添えるか？

ケアを行うのは何らかる病気や障害があるからですが、ケアの中心にあるのは病気や障害ではなく、ケアを必要とする人でもありません。その中心に位置するのはケアを受ける人とケアをする人の「信頼関係」であることを真に理解し、そして実践できる人材をこれからも育てていければと考えています。

法人事務長 鳥羽 芳弘

### 蛭田 歩



趣味 / 舞台鑑賞

意気込み / 毎日違った表情をされる利用者様が笑顔になったとき、一緒に嬉しくなる気持ちを忘れずに働いています。私たちと同じような生活を送るのは難しいかもしれませんが、私たちと同じように楽しい気持ちを感じながら生活を送れるようお手伝いできていれば嬉しいです。その為にも日々利用者様を知っていくことを心がけています。